

- 肥効調節型肥料(特に被覆肥料)を活用して2作分の施肥を1回で行う施肥法。
- 2作1回の事例が多いが、3作1回施肥なども試みられている。
- マルチを外さないで次作の定植または播種ができるので、比較的短期間に複数の作物を栽培する葉菜類(ハクサイ、レタス等)で効果を発揮する。

2作1回施肥の栽培風景(山梨の例)

第1作:レタス



第1作終了後



第2作:ハクサイ



このような生産者にお奨め！
-野菜の2作1回施肥法のメリット-

1. マルチを張り替えず有効活用して露地野菜を連続生産できる。
(マルチ張り替え・2回目の施肥作業の軽減、マルチ資材費の削減)
2. 窒素利用率向上による減肥が可能であり、環境負荷の軽減

